

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 118

事務事業名	不燃物収集処理事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境センター		
課長名	濱崎 賢二	内線	54-3100
担当者名	平地 俊夫	内線	54-3100

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	4	衛生費	
項	2	清掃費	
目	2	塵芥処理費	
事業コード	020200	不燃物等収集処理事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			市民が排出した不燃物及び処理困難物		
意図	対象をどのような状態にしたいか			不燃物及び処理困難物の適正な処理を行うとともに、処理に当たっては可能な限りサイクルに努める。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			市民が排出する不燃物を収集し、適正に処理するとともに、環境センターで処理できない処理困難物については、民間へ適正な処理を委託する。		
事業期間	年度	～	平成	年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、一般廃棄物処理基本計画					
国・県補助事業に係る本市単独施策	無					

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 不燃物を収集した台数	計画値	3,270	3,250	3,275	3,184	平成28年度収集台数見込値
		実績値	3,209	3,178	3,165		
	委託による不燃物収集台数	達成度	98.1%	97.8%	96.6%		
		達成度	%				
成果指標	① 家庭系不燃物の搬入量	計画値	1,414	1,391	1,376	1,352	ごみ処理基本計画目標値
		実績値	1,502	1,443	1,555		
	不燃物搬入量	達成度	106.2%	103.7%	113.0%		
		達成度	%				
	②	計画値					
		実績値					
達成度	%						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	29,164	29,507	29,731	31,315	31,131	31,131	31,131	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	29,164	29,507	29,731	31,315	31,131	31,131	31,131	
② 人件費(千円)	1,192	1,134	1,058	1,091	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	不燃物を収集し、適正に管理する。	不燃物を収集し、適正に管理する。	不燃物を収集し、適正に管理する。	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	30,356	30,641	30,789	32,406				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】 の改善・改革の進捗等)	市内収集業者に委託し、不燃物の収集運搬及び処理を適正に実施している。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	家庭から排出される不燃物を収集することにより、生活環境の保全に資する。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市民から排出される廃棄物は、市の責任で処理しなければならない。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	ごみの分別が適正に行われており、市民一人当たりの排出量はほぼ横ばい状態である。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	リサイクル法に基づく分別が進められることにより、不燃物の減量化に繋がる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	民間委託することにより経費節減を行っており、これ以上削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような 取組をするか(課題や問題点等に 対する取組など)	不燃物の再資源化で不燃残渣量は少なくなってきており、効果が上がっているので現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待され る効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。